

# 6

# 東日本大震災後の建設市場

## 》 東北地方の建設投資

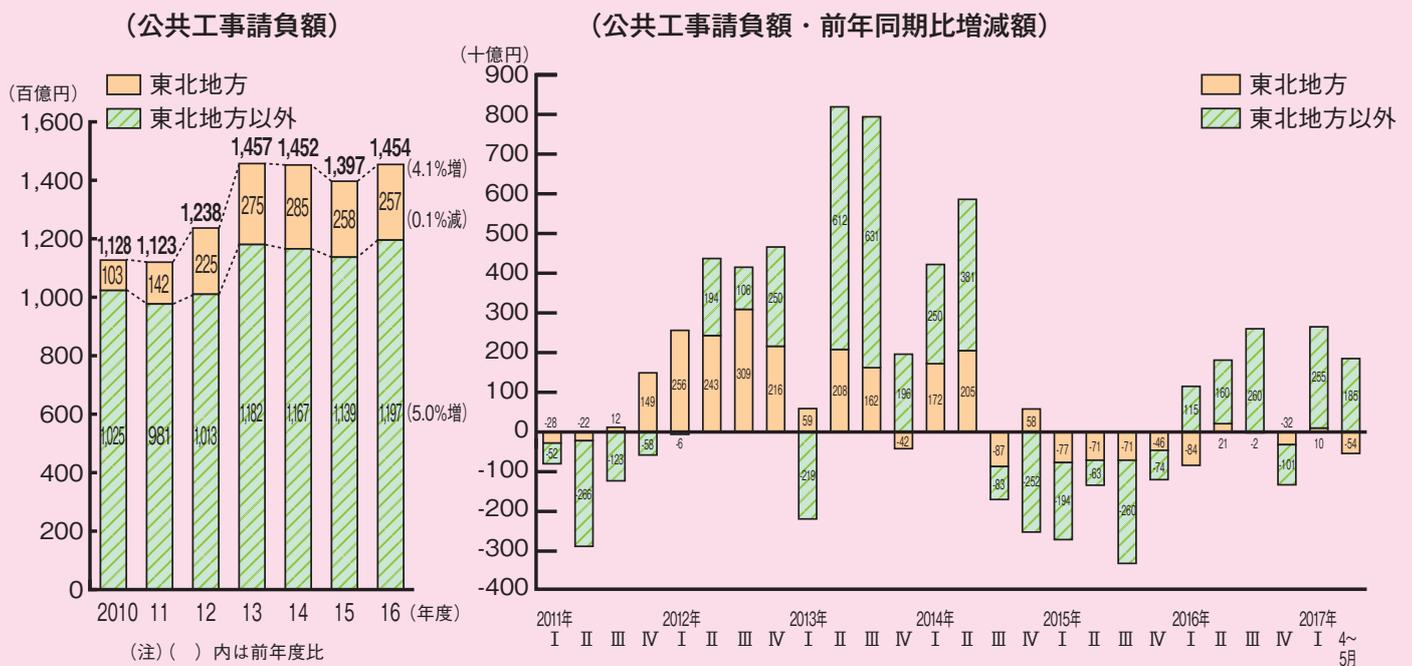


(注) 1. 2015、16年度は見込み値、17年度は見通し値。  
2. 東北地方：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

資料出所：国土交通省「建設投資見通し」

東日本大震災後、復旧・復興需要を背景に東北地方における建設投資が増加した。特に土木投資の増加が顕著であり、震災から7年目となる17年度においても高水準の見通しとなっている。

## 》 東北地方の公共工事



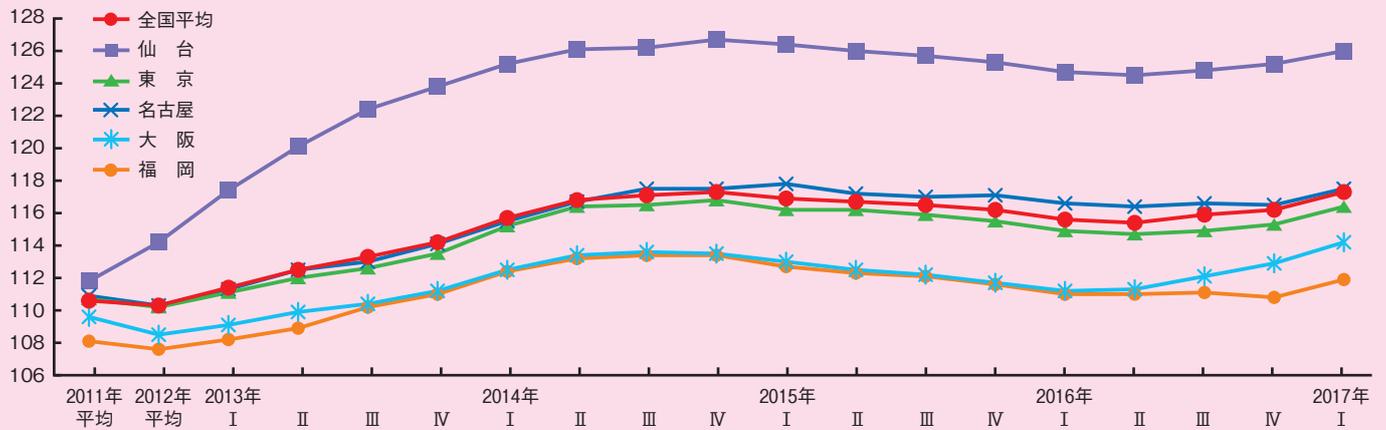
(注) ( ) 内は前年度比

資料出所：北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

減少傾向が続いていた公共工事は、震災復旧工事の本格化により、2011年度を底に増加に転じた。東北地方の公共工事請負額は、2014年度に2兆8,500億円まで増加したが、その後は減少に転じ、2016年度は2兆5,700億円となった。



## 》 都市別資材価格指数

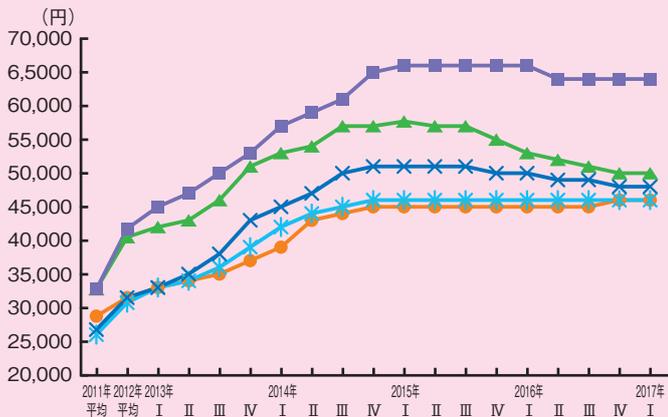


(注) 建設資材物価指数：各都市2005年平均=100

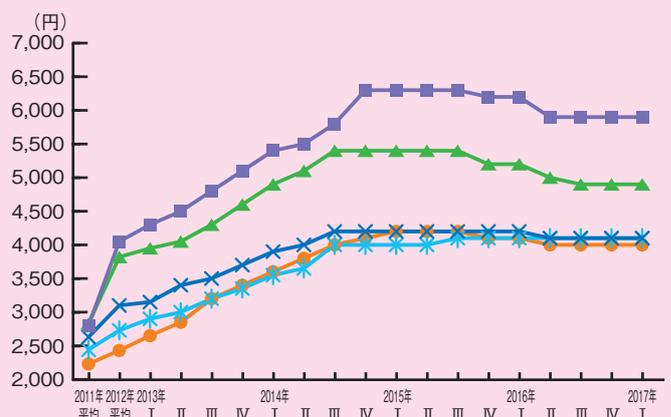
資料出所：建設物価調査会

## 》 都市別工事市場単価

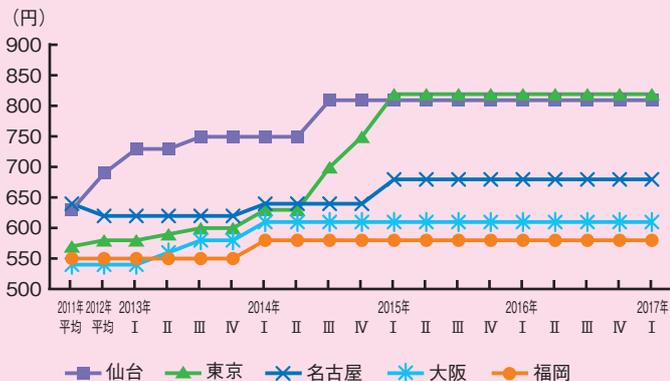
建築鉄筋工事市場単価



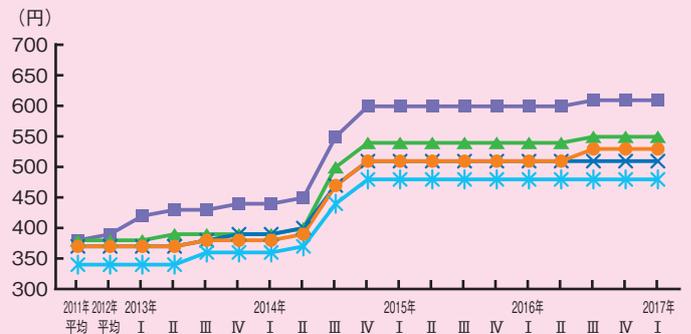
建築型枠工事市場単価



建築コンクリート工事市場単価



建築左官工事市場単価



資料出所：建設物価調査会

復旧・復興工事の増加に伴い、東北地方を中心に建設資材価格の上昇が続いてきたが、2015年に入り資材価格は下落するとともに、建築市場単価も横ばいに転じた。16年に入って、資材価格は再び上昇に転じたが、建築市場単価はコンクリート工事や左官工事では横ばい状態、鉄筋工事や型枠工事では下落気味となっている。